



2025年2月27日

各位

会社名 日本精鉱株式会社
代表者名 代表取締役社長 植田 憲高
(コード番号 5729 東証スタンダード)
問合せ先 取締役企画管理部長 大西 芳太郎
(TEL 03-3235-0021)

業績予想の修正及び配当予想の修正（増配）に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、2024年11月1日に公表いたしました2025年3月期通期業績予想及び2024年5月14日に公表いたしました2025年3月期の配当予想を、本日開催の取締役会において、下記のとおり修正することを決議いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 2025年3月期通期業績予想の修正（2024年4月1日～2025年3月31日）

(1) 2025年3月期 通期連結業績予想の修正

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株式に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	未定	未定	未定	未定	未定
今回修正予想(B)	25,200	3,480	3,420	2,350	960円79銭
増減額(B-A)	—	—	—	—	—
増減率(%)	—	—	—	—	—
(ご参考)前期実績 (2024年3月期)	15,589	674	706	502	205円84銭

(2) 2025年3月期 個別業績予想の修正

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	未定	未定	未定	未定	未定
今回修正予想(B)	15,400	2,880	3,000	2,100	858円58銭
増減額(B-A)	—	—	—	—	—
増減率(%)	—	—	—	—	—
(ご参考)前期実績 (2024年3月期)	8,132	325	398	279	114円61銭

2. 修正の理由

2025年3月期の業績予想につきましては、アンチモン事業を取り巻く環境に大きな変化があり、合理的に算定することが困難であったため未定としておりました。

アンチモン事業の主要製品である三酸化アンチモンはアンチモン地金（以下、「原料地金」）を原料としております。原料地金の主要生産国は中国であり、中国当局は2024年9月15日よりアンチモンの輸出管理を実施するとの公告を発表し、さらに同年12月3日には対米輸出は原則として許可しないと発表したことを受けて、原料地金価格の最高値の更新が相次いでおります。

原料地金価格は2024年4月のトン当たり約13,000ドルから、最近では50,000ドル前後まで急騰しており、異例の事態となっております。

当社は以前から中国依存度を減らすべく、グローバル調達を推進してまいりましたので、既存取引先への一定の販売は維持することができ、在庫の影響もあり、売上高、利益ともに過去最高に達する見込みです。

しかしながら、中国における原料地金の輸出許可が下りる時期や、今後の原料地金価格の動向は依然として不透明であり、予断を許さない状況が続いております。

3. 期末配当予想の修正

(1) 配当予想の修正内容

	1株当たり年間配当金		
	第2四半期末	期 末	合 計
前 回 予 想 (2024年5月14日公表)	円 銭	円 銭	円 銭
		45.00	90.00
今 回 修 正 予 想		100.00	160.00
当 期 実 績	60.00		
(ご参考) 前 期 実 績 (2024年3月期)	40.00	40.00	80.00

(2) 修正の理由

当社は、株主の皆様への安定した利益還元を重要な経営方針の一つとして位置づけており、企業体質の改善に取り組み、持続的な成長と企業価値の向上に努めています。配当につきましては年2回を基本的な方針とし、安定的・継続的に行うように努めていきます。

2025年3月期の期末配当金につきましては、当期の業績見込み、財務状況及び成長のための設備投資や人的資本への投資などを総合的に勘案し、前回予想の1株当たり45円から55円増配し、1株当たり100円の予想に修正することといたしました。これにより年間配当予想は1株当たり160円となります。

(注) 上記予想は現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績、配当は様々な要因によって上記予想と異なる可能性があります。

以上